

じちろう鳥取

自治労鳥取県本部

発行責任者

西村 裕生

編集人

教育宣伝部

〒680-0814

鳥取市南町505番地

自治労会館

TEL 0857-24-1851

FAX 0857-37-0090

ホームページ

<http://www.jtottori.jp/>

定価 15円

(組合員の購読料は
組合費の中に含む)

紙面に関するご意見は

e-mail

jtottori@j-tottori.jp

またはフAXにて。

第235号の紙面

CONTENTS

1面 県本部委員長あいさつ
あいはらくみこ・えさきたかしあいさつ

2面 湯原俊二さんあいさつ
二〇一六確定闘争を振り返って
二〇一七春闘に向かおう
鳥取県中部地震災害支援特別カンパ

連合に結集する労働組合として、 春闘・協約改定闘争に取り組もう！

謹賀新年



「おしどり」 宮本徹さん (琴浦町職労) 提供



自治労鳥取県本部
執行委員長
西村 裕生

場が抱える課題も顕在化しています。例えば、職場内でも、震災対応で人員が足りず、通常業務がまわらなくなっていました。保育園では、職員だけでなく、子どもたちの防災頭巾も人数分の準備ができていませんでした。

この二〇年、改革と言えは数を減らすことで、この結果、災害が起きても、職員が足りない、他へ応援を派遣することもできないという、全く余裕のない組織や社会となってしまう。

災害時であっても、住民が安心して生活が継続できるようにしていくことが、私たちが担っている役割でもあります。費用対効果ではかれるものではありません。自治体や地域で担っている公共サービスの意義をもう一度見つめ直していくことが必要です。

また、七月一〇日は参議院選挙が実施され、自治労組織内候補「えさきたかし」を再び国会へ送ることができました。これも組合員が最後まで諦めず、動きを止めずに取り組んだ成果であり、感謝申し上げます。鳥取県内でも六年前より票数を増やすことができた

ましたが、組合員の人数にすら遠く及びませんでした。単組組合員同士の関わり合いができていないという現状がみえました。多忙な業務に追われ、お互いを気遣うことができていないのではないのでしょうか。組合員一人ひとりがつながる組織としていくため、日常

活動を点検し、強化していかなければなりません。さらに、結果として衆・参両院とも改憲勢力が三分の二を占めることとなりました。安倍政権は、TPPや年金抑制法案、カジノ法案などを、世論の反対の声が多いのに強行採決しました。にも関わらず、支持率は下がらな

いままでも、格差が拡大する政治が続いています。戦争法に基づき、南スーダンのPKOに駆けつけ警護を付与し、戦後初めて戦争で日本人が人に銃口を向けることができるようになります。沖縄でも、東村高江へのオスプレイパット建設を強行し、沖縄に戦争被害だけでなく、さらなる基地負担を押しつけようとしています。沖縄の問題は、負担を沖縄に押し付けている本土の私たちの問題だと気づかなければなりません。

国民を無視した政治、平和を脅かし、最大の人権侵害である戦争に向かおうとしている政治にはつきりと反対を示し、誰もが安心して暮らせるようにするため、次期衆議院選挙に全力で取り組んでいかなければなりません。

私たち鳥取県本部は、一緒に働く仲間が安心して働き、生活できるように、立場の弱い人たちの思いに耳を傾け、全組合員が一致団結して、正規・非正規問わず格差是正や平和に向けた取り組みを継続していきます。

様々な課題の解決にむけて前進していくため、自治労に結集し、全ての組合員が団結し、当面する二〇一七春闘をたたかいぬきましょう。

組合員をはじめ、ご家族の皆様にとつて二〇一七年が輝かしい年となりますよう心からお祈り申し上げます、年頭のあいさつとします。



あいはらくみこ
参議院議員

安心して暮らせる地域を守るため奮闘します

明けましておめでとうございます。相原久美子です。

国会では衆参両院ともに改憲勢力が三分の二を占め、自民党が単独過半数を得て、与党による国会運営はさらに強化されています。

しかし、アベノミクスは破綻し、国民の生活は一向に改善されていません。今必要なことは、国民が安心して生活するための政策を打ち出すこと



えさき たかし
参議院議員

歴史の転換期
俯くことなく前へ前へ

自治労組合員の皆さん。明けましておめでとうございます。

昨年は本当にお世話になりました。ありがとうございます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、いよいよトランプアメリカ合衆国大統領が世界政治の舞台上に登場します。ソ連崩壊後、良くも悪くも唯一の覇権国であった米国が、その地位を降りる年になるかもしれない二〇一七年の

です。次世代を育てるための教育費や、非正規労働者などの雇用の安定と社会保障制度に国の予算を投入する必要があります。教育や社会保障を現場で担うのは地方自治体です。

しかし、安倍政権は地方交付税や社会保障費の削減を強行しようとしています。自治体を中心となって地域住民の生活を守るために必要な財源と権限の確保に向けて、皆さんと連携して取り組みを進めてまいります。

今年、衆院選挙が予想されます。与党に対抗するためには、広範な市民との連携による野党共闘が必要です。公共サービスの強化・脱原発・教育の無償化・社会保障の拡充などを対抗軸として、私も全力で奮闘することをお誓い申し上げます。

ともに頑張りましょう！

幕明けです。ロシアと友好関係を築く可能性がある米大統領の誕生によって、歴史の歯車が大きく動き出すかもしれません。

一方、政権復帰以来、怒号と非難の嵐の中で強行に政治を進めてきた安倍政権は、日本をどこに導こうとしているのか。先の見えぬ不安が国民を覆っています。国民を国を地方を不安の坩堝に落とし込もうとしている安倍政権に、終止符を打つ年にしなければなりません。今年中にあると言われている総選挙は、戦後最大の政治決戦となります。

厳しい年になりますが、俯くことなく前を向いて歩を進める覚悟です。最後に、今年一年が皆さんにとって実り多い年になることをお祈りし、あいさついたします。

'16 確定闘争を振り返って

確定闘争において、要求書提出単組は自治体二〇単組、公共民間一三単組の合計三三単組で、昨年と同じでした。

市町村単組では、月例給の水準と一時金の支給月数については、引き上げることが確認できました。また、差額精算については、約半数の単組で確認書に盛り込むことができましたが、一単組が「週及精算」とはできませんでした。

現給保障終了後の対応 原資配分の考え方

二〇一四年の給与総合見直しについて、当時の闘争で現給保障の終了時に不利益とならないよう協議等を行うことを確認できていなかった単組について、「一度決めたことだから」と交渉を進めることが難しい状況がありました。



衆議院議員選挙 鳥取二区候補 湯原 俊二さん

「アベノミクス」「地方創生」「一億総活躍」などとは裏腹に、国民の間には不安が蔓延しています。私は、国民の生活にこそ支援・投資をして、国民の不安を払拭すべきと考えます。大胆な子育て支援、教育の無償化、若者の非正規雇用の正社員化、基礎年金は減らさない、医療・介護といったセーフティネットの充実が必要です。また、憲法違反の安保法制に反対します。専守防衛で自衛隊には日本周辺をきっちり守ってもらいます。が、地球の裏側に自衛隊を派遣し米国と一緒に戦争に参加することには反対します。政治を一緒に変えて変えましょう。

自治労鳥取県本部は、湯原俊二さんを次期第四十八回衆議院議員選挙鳥取二区の候補として、六月一〇日開催の第一〇一回臨時大会で推薦決定しています。

自治体の予算が、人件費の枠を考えるのではなく、積み上げ方式で必要な額を計上するという、ある意味場当たり的なものとなっており、将来を見据えた財源確保を考えていくことも必要です。

扶養手当の変更について

人事院勧告で示された扶養手当の配分変更については、民間に準拠しておらず、政策誘導といえるものでした。これに対しては、一方的な見直しをさせないことをめざし、九単組が継続協議とさせましたが、一〇単組では、民間企業に先駆けた政策誘導であることを使用者側に認識させながらも、国公準拠の姿勢を崩すことはできず、「月例給・一時金の引き上げ」とセツトでの変更は合意せざるを得ませんでした。

あけまして おめでとうございます。今年は、これからの国づくりを決める大きな岐路に立つ年になります。安倍政権の政策によって格差が益々拡大し、親の所得格差が子どもへと連鎖、固定化しています。市場原理の国づくりで大都市や大企業は良くて、地方や中小零細企業、農林水産業は厳しくなり、地域間格差も拡大するばかりです。安倍政権がマスコミを使ってぶち上げるスローガン「アベノミクス」「地方創生」「一億総活躍」などとは裏腹に、国民の間には不安が蔓延しています。私は、国民の生活にこそ支援・投資をして、国民の不安を払拭すべきと考えます。大胆な子育て支援、教育の無償化、若者の非正規雇用の正社員化、基礎年金は減らさない、医療・介護といったセーフティネットの充実が必要です。また、憲法違反の安保法制に反対します。専守防衛で自衛隊には日本周辺をきっちり守ってもらいます。が、地球の裏側に自衛隊を派遣し米国と一緒に戦争に参加することには反対します。政治を一緒に変えて変えましょう。

せんでした。

扶養手当額の配分変更は、配偶者より子どもの方が対象となる人が多いため、結果として人件費増となることがわかっていても、そのための財源を確保し、とにかく国公に合わせるという首長側の主張は、人事院の配偶者から子へという「原資配分」を理解しておらず、独自の考えを持たず、人事院報告・国公数値のみに依拠していることが明らかです。これは、一度国公が動いたら、独自で財源を捻出してでも国公に合わせるということをしており、過去何年も行われた財源不足を理由とした独自賃金削減の根拠を自ら否定していることになりました。

さらに、人事院の役割は、給与その他の勤務条件の改善にかかわる調査・報告・勧告ですが、民間調査結果に基づかない政策誘導を勧告すれば、第三者機関としての役割を放棄したのと同じことです。「人勤体制」からの脱却と真の自律的労使関係の構築をあらためて追及しなければなりません。

また、県本部の扶養手当の見直しに関して、組合が合意をすればなりません。今回の闘争日程は、本部はヤマ場を一月一七日としていましたが、全国町村会総会・市長会総会と重なり首長が不在となることから、鳥取県本部では、一月二一日をヤマ場に設定しました。あくまで交渉の相手は首長であり、首長と決着をつけることを目指しました。自治体によっては一月の臨時議会でも条例改正するため、設定ヤマ場以前に決着を迫られた単組もありましたが、ヤマ場ギリギリまで首長交渉を実施することができました。

'17 春闘に向かって

多様化・複雑化する社会保障ニーズに対応し、それを支える人材の確保・処遇の改善にむけた取り組みを強化していくため、今年度から「地域福祉春闘」として、取り組みます。四つの重点課題として、①公務員賃金の改善②地方財政の確立③よりよい地域医療・福祉にむけた春闘の取り組み④格差是正と公正なワークルールを確立する取り組みを掲げ、闘っていきます。

県本部は、民間労働組合と同様に春闘を基軸とした闘争を進めています。今回の確定闘争で決着がつかなかったことも含め、春闘期に春闘要求及び労働協約改定申入れを行い、次年度の働き方についての決着を目指します。決着がつかなかった項目については六月期に、人員確保闘争、男女平等推進闘争として、交渉をしていきます。

賃金・労働条件については、国公の給与法改正の動向を注視し、17確定闘争に取り組みます。ともにがんばりましょう！

鳥取県中部地震災害支援特別カンパ 2,127,897円を中部地区の単組へ



一〇月二一日に発生した鳥取県中部地震で、復旧に向けて奮闘している組合員に少しでも連帯するため、鳥取県本部として「災害特別カンパ」に取り組みました。組合員のみならず、から二、一、二七、八九七円のカンパが集まりました。中部の単組、支部へ配分します。まだ復旧・復興の半ばですが、ともにがんばりましょう。

まちがえちゃったハガキにもできることがある

まちがえちゃったハガキや余ったハガキを寄付してください

古本でリサイクル募金!

読み終わった本でエファジャパンに募金しませんか?

エファジャパンは、古本を通じた社会貢献活動です。読み終わった本を回収し、リサイクルして所得を返すことで、社会貢献活動の一環として、鳥取県に寄付させていただきます。